

こんにちは。附属図書館です。新しい年度が始まりましたね。図書館は皆さんの「知りたい」「読みたい」「学びたい」を応援しています。資格取得の情報や、実習での長期貸し出しなど、ご相談ごとがあればお気軽に図書館職員にお声がけください。本のリクエストもできますので、おすすめの図書がありましたら、教えてくださいね^^



図書館からのお知らせ

図書館の利用方法を知って多くの本を活用していきましょう！

☆OPAC（オーパック）での資料検索

OPACとは、Online Public Access Catalogの略で、図書館の所蔵をWeb上から検索できるサービスです。図書館内及び、Webに接続している学内外のパソコン・タブレット等から図書館の所蔵（図書・雑誌・視聴覚資料）を検索できます。図書館ホームページの画面にある「鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 OPAC（蔵書検索）」から利用できます。授業や採用試験に役立つ過去問などの検索にお役立てください。館内カウンター横に OPAC 用のパソコンもごございますのでご活用下さい。



鈴鹿大学図書館検索条件入力 (簡単検索)

[最初の画面へ](#) | [ヘルプ](#)

[検索条件入力](#) > [検索結果一覧](#) > [詳細表示](#)

検索キーワード

検索キーワードに、「タイトル」や「著者」を入れます。検索開始を押すと、館内のどこにその本が配架されているか表示されます。↓ わからないことがあれば、図書館職員にお声がけください。

請求記号	資料状況	配架場所【特別配置】	貸出情報
816.5 Ka97	2022/08/11	鈴鹿大学 図書館 1F開架 開架 帯出	ラベル番号(登録番号): 145464(145464) <input type="button" value="予約する"/>



今月の展示コーナー



《日本・三重県について》

1年生の皆さんの中には三重県に初めて住む方や、日本に来ることが初めての留学生の方もいらっしゃると思います。そんな皆さんに三重県や日本について知っていただける本をピックアップしました。今まで自分が過ごしていた地域との違いを発見したり、新しい場所を訪れるきっかけにご活用ください。一部貸し出しができない図書がございますので、館内にてご利用ください。

《大学生のうちに読んでおきたい本》

本を読みたいと思っているけど、どんな本を読めばいいかわからないと思っている方も多いのではないのでしょうか。図書館では、自己肯定感を高める本や、学生のうちから理解しておきたいお金の話などを集めて展示しています。

新しいスタートをきった皆さんの後押しとなるような本を選びましたので、手に取って読んでいただくと嬉しいです。



新着本

八月の御所グラウンド

万城目学/ 文藝春秋

《第170回 直木賞受賞作》

京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは――。

女子全国高校駅伝――都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。

謎の草野球大会――借金のカタに、早朝の御所G（グラウンド）でたまひで杯に参加する羽目になった大学生。

人生の、愛しく、ほろ苦い味わいを綴る傑作2篇。



御朱印さんぽ 東海の寺社

JTB パブリッシング

お寺や神社を参拝した証としていただける「御朱印」。躍動的な墨字と、鮮やかな印の組合せには、奥深い意味と魅力が詰まっています。

本書は、おもに静岡県、愛知県、三重県、岐阜県で人気の高い御朱印のある寺社をたっぷり紹介しています。快く御朱印をいただくための「基礎知識や参拝マナー」「今さら聞けない用語」、効率的におさんぽできる「モデルコース」なども丁寧に解説しており、御朱印さんぽの実用情報満載の1冊です。



「図解ポケット 画像生成 AI がよくわかる本」

田中秀弥, 松村雄太

国際地域学部准教授 原 仁志

2022年頃から急速に技術発展し、話題となっている画像生成 AI をはじめとした生成 AI について解説している本です。生成 AI とはなにか、どのような技術発展を遂げてきたか、活用方法、著作権との関連など、基本的なところが網羅されており、はじめに読む本としておすすめです。生成 AI がこれから社会にどのような影響を与えるのか、といったところまで解説してありますので、画像生成 AI についてあまりよく知らないのどのようなものか知りたい、という要望に応えてくれるでしょう。

生成 AI といえば、OpenAI 社が開発した ChatGPT で世間を賑わせました。利用したことのある方も多いかもしれませんが、まるで人間が回答しているかのような自然な答えが返ってきます。これらの技術はコンピュータの急速な発達と、「大規模言語モデル」と呼ばれる技術が登場することにより、飛躍的に発展しました。この生成 AI について画像生成 AI を中心としてひととおり学びます。

画像生成 AI 自体はクラウドサービスもありますので、利用については難しいわけではありません。しかし画像生成 AI については、著作権問題が SNS などで騒がれています。主にデータセットと呼ばれる学習元の画像について、そして生成した画像の著作権についてです。さらに画像生成 AI による倫理的な問題として、ディープフェイク画像、動画などの問題についての記述もあります。これらについてはぜひとも知識を持った上で正しく利用したいところです。そのための最初の一步となる本だと言えるでしょう。

「道をひらく」

松下幸之助

短期大学部教授 梅原 頼子

全国大学生協連合会が実施した「学生生活実態調査（2022年）」によると、大学生の不読率（過去1ヶ月間の読書量が0の者の比率）は46.4%であり、近年は50%前後で推移しています。大学生の半数は読書習慣がないということですが、みなさんは普段から読書をしていますか？小説や自伝などの長編にはなかなか手が出ない方でも、今回紹介する「道をひらく」は、短編の随想集で、どこからでも読むことができ、気になったところだけ読むこともできますのでお勧めです。

本書は、松下幸之助さんがPHP研究所の機関紙「PHP」に連載していた中から選んでまとめられたもので、昭和43（1968）年に発行されました。松下幸之助さんは、皆さんもご存じの通り、パナソニック（旧松下電器産業）グループを創業し、世界的企業へと成長させた方です。現在2024年ですので50年以上前の書であるにも関わらず、今と変わらない人として大切なことや、忘れてはいけないこと、ものの捉え方や見方などが綴られたロングセラーです。あなたが悩んだときや迷ったときなどに、目に留まったところだけでも読むと物事の捉え方が変わるヒントになるかもしれません。

※PHP（Peace and Happiness through Prosperity）とは、「繁栄による平和と幸福」を意味する。

人気のある「道」を抜粋して贈ります。

自分には自分に与えられた道がある。

他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでいても、道はすこしもひらけない。

道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。

それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。

深い喜びも生まれてくる。